

## 国保制度改革強化全国大会

**国保制度改革強化全国大会**

令和元年11月28日「国保制度改革強化全国大会」が東京・日本消防会館で開催され、医療保険制度一本化の早期実現など9項目の決議を満場一致で採択した。

### 国保の構造的課題解消

国保制度改革の施行2年目を迎えた大会には、全国の市町村長や都道府県を含む国保関係者約1000人が参集した。

開会にあたり、主催者を代表して挨拶した岡崎誠也大会会長は、「今後ますます進む少子高齢化により医療費の増加は必至であり、国保制度を取り巻く環境は依然として厳しいものが見込まれる」と指摘。国保制度を持続可能なものとしていくため「国保関係者は保険者機能を発揮し、全力で事業運営に努力していく所存である」と述べた。

一方、国の重要な責任として「今般の国保制度改革が将来にわたって実効あるものとなるよう、毎年3400億円の公費投入を確実に実施する

ことなど、財政支援を拡充し、財政基盤の強化を講じることを強く要請する」、また「国保制度の抱える構造的問題を解消するには、普通調整交付金が担う自治体間の所得調整機能を維持する必要がある」と述べ、国の対応を求めた。

大会では、これらの要請を含め、9項目の決議案を掲げ、満場一致で採択した。

### 決議実現に向け陳情

大会終了後、決議の実現に向け、政党・政府関係者への陳情活動を展開し、本県からは、中芝理事長（岩出市長）が班長を務め他県関係者とともに自民党本部にて二階俊博幹事長らと面会。陳情書を受け取った二階幹事長は「国保

は大事だ」「しっかりとやりましょう」と語った。

また同日、大会に先立ち、中芝理事長をはじめ、尾花副理事長（和歌山市長）、岡野常務理事、坂本理事（本会事務局長）らが本県選出国会議員に対し陳情を行い、国保が抱える諸問題の解決に向け協力を要請した。



④ 代表陳情にて陳情書を受け取る二階幹事長



⑤ 陳情に出向いた本会役員と、陳情書を受け取る岸本周平議員（左）、石田真敏議員（右）